

## 「人材力活性化に関する調査研究事業」報告書骨子（案）

## 0. はじめに

本調査の目的と調査項目を記載。調査目的は仕様書の目的を記載。

## 1. 人材力活性化研究会の実施運営

- (1) 人材力活性化研究会とは  
人材力活性化研究会の目的、メンバー、開催スケジュールを記載。
- (2) 第1回の開催概要と協議結果
  - ①フォローアップ研修について
    - ・フォローアップ研修は必要
    - ・ステップアップ研修
      - フィールドワーク編等の実践的研修
      - 分野別・テーマ別の研修
    - ・フォローアップ研修（地域版）
      - 具体的な取組を生み出す研修
      - 修了生を地域ごとに束ねる仕組みづくりと活動をサポートする施策
  - ②新しいカリキュラムについて
    - ・地域コーディネーター研修（ただし、「地域コーディネーター」の定義を明確に）
    - ・ジャンル別に地域コーディネーターをつくるか。
- (3) 第2回の開催概要と協議結果  
第2回の開催概要と議事概要を記載

## 2. 全国地域づくり人財塾

- (1) 全国地域づくり人財塾とは  
全国地域づくり人財塾の開催目的とこれまでの開催経緯等を記載
- (2) 今年度の実施状況  
今年度の実施概要（カリキュラム、開催模様の写真）を記載
- (3) 研修の効果と課題  
各回の受講者アンケートの結果から、研修の効果と実施上の課題を整理

## 3. 全国地域づくり人財塾課題解決編

- (1) 全国地域づくり人財塾課題解決編とは  
課題解決編の開催目的を記載。
- (2) 開催概要  
カリキュラムと開催模様の写真を記載。
- (3) 研修の効果と課題

受講者アンケートの結果から、研修の効果と実施上の課題を整理。

#### 4. 「地域づくり人育成ハンドブック」の充実

##### (1) 地域づくり人育成ハンドブック充実の目的

充実の目的と、加筆修正する範囲（第Ⅱ章 地域づくり人が学ぶべきこと）、加筆・修正の視点について整理。

##### (2) 加筆・充実した事項

新旧の対応表にて、加筆修正点を整理。

別添参照

#### 5. 今年度の成果と今後の方向性について

##### (1) 本年度の成果と課題の確認

全国地域づくり人財塾、全国地域づくり人財塾課題解決編、研究会の議論の結果から今年度の成果と課題を整理。

##### 【成果】

- ・全国地域づくり人財塾  
→満足度や修了生独自の動きなどから、基礎的研修（一般教養的研修）として効果を確認。
- ・全国地域づくり人財塾（課題解決編（ケーススタディ型））  
→ステップアップ研修としてプランニングスキルの習得。
- ・市町村アンケート  
→地域リーダー研修の実施傾向の把握。これまでの総務省事業（全国地域づくり人財塾、課題解決編、地域支援事業）の必要性・有効性を確認。

##### 【課題】

- ・全国地域づくり人財塾  
→市町村アンケートから見て基礎的研修（一般教養的研修）としてはニーズが高い。このため、継続的に地域人財を輩出するためには継続することは有効。ただし、研究会メンバーからはマンネリ化の指摘あり（ただし、基礎的研修として位置付けるならば同じことを繰り返して、同等の人材を輩出することが重要）。  
→「講師との直接対話」に重点においたカリキュラム構成の意見あり。
- ・全国地域づくり人財塾（課題解決編）  
→ステップアップ研修としては有効。ただし、開催時期の検討が必要。また、研究会ではフィールドワーク型の有効性の指摘あり。
- ・フォローアップ研修  
→修了生の独自の取組に対するフォロー（支援）と、「地域づくり人育成」のカリキュラムとしての位置付けも必要か。
- ・ステップアップ研修

→現在の「全国地域づくり人財塾（課題解決型）」以外のスタイルの必要性。研究会では「地域コーディネーター研修」の必要性が挙げられた。

## （２）今後の方向性

受講者アンケートや都道府県・市町村調査結果を踏まえて、次年度以降の課題を整理。

- ・全国地域づくり人財塾
  - 基礎的研修としてこれまでどおり実施。ただし、「講師との直接対話」または「分科会」の時間をこれまでより長くとる。
  - 都道府県・市町村のニーズ等を踏まえた JIAM・JAMP 以外での地方開催。
- ・フォローアップ研修
  - 修了生による独自学習機会については奨励または義務化（宣言に対する活動報告）。その際、講師派遣等にてフォロー。
  - また、修了生に対するフォローアップの一環として、全国地域づくり人財塾にて事例発表の時間を設けることを位置づける。
- ・ステップアップ研修①：課題解決編（ケーススタディ型）
  - 全国地域づくり人財塾（課題解決編（ケーススタディ型））については、開催時期・会場を見直し、同様のスタイルで実施。
- ・ステップアップ研修②：課題解決編（フィールドワーク型）
  - 全国地域づくり人財塾（課題解決編（フィールドワーク型））を実施する。実施地域については修了生の地域を中心に選択する。
  - 修了生のフォローアップの一環として、そのコーディネートを修了生に行わせることを想定する。
- ・ステップアップ研修③：地域コーディネーター研修
  - 上記②とあわせ、地域コーディネーターの育成の在り方を検討。
- ・地域研修支援①：広域連携支援
  - 都道府県や市町村アンケートの結果を踏まえ、複数の市町村による合同開催や、定住自立圏における開催を支援する。
- ・地域研修支援②：専門家派遣
  - 都道府県や市町村が開催する研修のうち、年間で一定回数以上実施する研修については「地域力創造のための外部専門家の活用に対する財政支援」の適用も検討。

■参考（市町村アンケートの結果）

【市町村研修の課題】

- ・講師選び
- ・受講生確保
- ・財政的困難

【アンケートに見る取組の萌芽】

- ・広域連携で実施
- ・大学連携・官民連携で実施
- ・企画立案～展開までの一つの研修
- ・科目を特化した研修
- ・インターンシップ
- ・修了生の企画立案活動に補助金